



3月3日 立教大学スポーツウエルネス学部開設記念講演会

<第1弾>

周防正行監督はなぜ「シコふんじゅった。」と 「Shall we ダンス？」を創ったのか

映画のなかでスポーツをどのように伝えたか、2つの映画作品に込められた想いや映画に登場する人物の多様性、現立教大学相撲部名誉監督としての活動や学生スポーツについて語っていただきます。



[周防正行氏]

[周防正行氏プロフィール]

東京都出身。立教大学文学部仏文学科（当時）卒業。在学中に非常勤講師の蓮実重彦氏の講義「映画表現論」に出会い、映画制作の現場へ。1984年に映画監督デビューし、初の一般劇場用映画『ファンシイダンス』（1989年）で高い評価を得、1992年公開の『シコふんじゅった。』で興行的・成功と共に国内の映画賞を総なめにする。2016年春の紫綬褒章を受章。2018年3月立教大学相撲部の名誉監督に就任。最新作は、映画版の30年後を描いたドラマ「シコふんじゅった！」（Disney+にて配信中。全10話）の総監督を務めた。

[江口桃子氏プロフィール]

神奈川県出身、立教大学法学部国際比較法学科卒、大学卒業後、FMヨコハマの番組リポーターを務めたのち、2001年4月からJNNニュースバード（現・TBS NEWS）のキャスターを4年間務めた。2003年TBS報道センター長賞受賞。現在、話し方に関する講演、研修、レッスンなども開催している。日本スポーツマンシップ協会理事

【申込】

会場参加：自由参加

ウェビナー（先着1,000名） <https://onl.tw/PAD7VHi>

